

## 第3回箱根町地域公共交通会議 会議録

日時：令和7年3月26日(水) 10時00分～11時00分

場所：箱根町役場郷土資料館 学習室

### 【会議次第】

- 1 あいさつ
- 2 会議成立報告
- 3 議題
  - (1) バス運転士不足におけるダイヤ改正等の影響について
  - (2) その他
  - (3) 質疑

### 【議事概要】

- 1 あいさつ  
環境整備部長から開会のあいさつ
- 2 会議成立報告  
事務局から出席した委員の人数が代理を含めて過半数を超えたため、会議が成立したことを報告した。
- 3 議題
  - (1) バス運転士不足におけるダイヤ改正等の影響について  
事務局から資料2に基づいて、令和6年10月に箱根登山バスが運行する小田原発・箱根町港ゆき路線バスの最終便を繰上げるダイヤ改正が行われた経緯等について説明した。併せて、減便や始発、最終バスの時刻変更を伴うダイヤ改正を検討する際には、早めの情報提供と相談を依頼した。  
また、箱根登山バスの佐野委員から資料3に基づいて、現行の運行ダイヤを維持するために必要な運転士の確保が困難な状況であることについて説明された。  
最後に伊豆箱根バスの渡邊委員から、運転士不足に伴う路線バスの運行状況等について説明された。

#### <質疑①>

(鈴木会長)：バス運転士不足に伴うダイヤ改正等の対策として、昨今全国各地で導入が進められているライドシェアや乗合いタクシー

といった方法が考えられると思いますが、神奈川県タクシー協会としては、どのようにお考えでしょうか。

(齋藤委員)：先般、小田原営業圏でのライドシェアの運行許可について、運輸局に申請したところです。箱根は交通渋滞が頻繁に発生するため、ライドシェアを運行することには課題があります。そのため、小田原の中心でライドシェアを運行し、その分のタクシーを箱根で運行することを検討していますが、ライドシェアやタクシーの台数には限りがあり、小田原営業圏におけるタクシー運転手の人数についても、本年1月以降は下降傾向にあるような状況です。

また、乗合タクシーについては、湯本～強羅間での一年間の乗合率は16%程度となっています。外国人の方が多く利用されていますが、日本人の高齢の方は相乗りを嫌がる傾向にあります。現在は特定のホテルと連携して、チェックアウトの時間帯に合わせた事前予約制の乗合いタクシーの実証実験を行っているところです。

(鈴木会長)：神奈川運輸支局の森下委員さんにお伺いしますが、他市町での事例や考えられる課題等がございますでしょうか。

(森下委員)：箱根には多くのお客様が訪れますので、そこに対応するためには町全体の公共交通機関をトータルで考えた方がよいのではないのでしょうか。より議論を進めるためには、この場に鉄道関係の方も呼ぶことで新しいアイデアが増えるのではないかと考えます。

#### <質疑②>

(事務局)：バス会社さんにお伺いしますが、近年、ホテルの新築や建替えに関する相談が増えており、大規模な建築物を建てる際には、事前に地域の方々に説明会を開催するようお願いしています。説明会の中で、外国人の方がバスの乗り降りに時間を要し、交通渋滞が発生しているため、バスベイを設置して貰えないかとの要望が事業者に寄せられている状況です。

また、事業者がバスベイを設置する際には、自己敷地を削って設置することとなるため、なかなか対応することが難しいとのことですが、他の地域での事例や考えられる対応策等があれ

ばご意見いただけないでしょうか。

(渡邊委員)：箱根は外国人の方の乗車率が非常に高く、乗車券や支払い方法の説明に時間を要するため、各バス停での停車時間が数年前と比べて大幅に伸びている状況です。お客様の対応や交通渋滞により、予定していた入庫時間から 2～3 時間遅れることもあり、残業制度（2024 年問題）に影響しているような状況です。バスベイが設置されることで、後続車を気にせずお客様の対応に集中することができるため助かりますが、国道 1 号沿いにバスベイを設置することは難しいと考えます。

(事務局)：神奈川運輸支局さんにお伺いしますが、バスベイの設置に対する補助制度はあるのでしょうか。

(森下委員)：多言語化に対する補助制度はありますが、バスベイの設置に対する補助制度はありません。

(2) その他  
特になし

(3) 質疑

(渡邊委員)：お願いにはなりますが、移動の際に鉄道やバスを使っていたことで、路線の廃止や減便を防ぐことに繋がると思いますので、時間がある際は公共交通機関を使っただけたらと思います。

<閉会>